

(業務名称) 2026～2028年度 開発教育支援プログラム及び国際理解促進に係る業務委託契約

(公告/公示日：2026年1月16日／調達管理番号：26c00016000000) について、以下のとおり質問いたします。

2026年2月4日

独立行政法人国際協力機構

北海道センター（帯広）

分任契約担当役 代表 根本直幸

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	入札公告 P1	2. 競争参加資格(4)	本協会は、日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人ではありませんが、今回の入札に参加することは可能でしょうか。	本入札には「日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人」でなくとも、日本に拠点を有する団体であれば参加可能です。入札書を訂正いたしましたのでご確認ください。
2	入札説明書 P19, 29	第2 業務仕様書（案） 4. 業務の内容(2) 3) ①受け入れに係る準備 第4 経費に係る留意点 (1)経費の費目構成 2)直接経費 ②外部講師・委員などの謝金・旅費・交通費	外部講師・委員などに依頼する際は、実施後に謝金の支払い手続きを行うとありますが、謝金の金額は受注者の規定額に基づいて手続きするのでしょうか。その場合、一回の支出の金額と年間の支払い回数はどのくらいを想定するのでしょうか。	原則として、謝金等の支払いはJICA の規定に基づいて取り扱います。1 回あたりの支出額および年間の支払い回数については、外部に依頼する回数に応じて想定額が変わりますが、委託契約の範囲内であれば、年間の上限回数が一律に定められているわけではありません。
3	入札説明書 P23	第2 業務仕様書（案） 5. 業務実施上の留意事項 1) 業務実施体制 ③	当該項目の配置単位は「人月」とありますが、実際の積算は積算様式で記載の「人日」を使用するものですか。「人日」である場合、年間何日相当となるのでしょうか。	ひと月20日想定ですので、年間17.74人月は354.8人日と想定願います。
4	入札説明書 P23	第2 業務仕様書（案） 5. 業務実施上の留意事項 1) 業務実施体制 ④	「図書資料室の開室時間中は、原則一名以上の従業者を常駐させ、本契約における業務における常駐者が確保できない場合は臨時閉室にて対応する」とありますが、一方で「可能な限り図書資料室の臨時閉室時間が少なくなるように」との記載もあります。多数の外勤が想定されるため（センター訪問対応プログラムは年間60件、地域交流事業及び学校訪問対応は年間それぞれ10件など）、少ない人月で常駐と外勤の業務が重複することが多いと想定されますが、これらの対応がある場合は基本臨時閉室できる解釈でよろしいのでしょうか。	図書資料室の開室時間中は可能な限り臨時閉室が少なくなるように調整する必要がありますが、センター訪問などJICA内での外勤の場合は図書資料室に不在でも開室していれば問題ありません。図書資料室開室時間中にJICA外での外勤が発生する場合には、代理の従事者を立てていただく必要があります。
5	入札説明書 P24	第2 業務仕様書（案） 5. 業務実施上の留意事項 3) 図書資料室の開室	開室日は最低1名の業務従事者が常駐するとのことですが、土曜日の長時間開室時については、従業者の昼休憩確保のため一時閉室とすることは可能でしょうか。	土曜日の長時間開室に限り、休憩のための一時閉室を認めます。